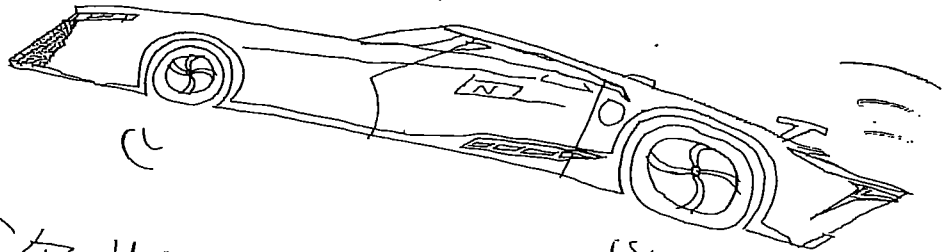
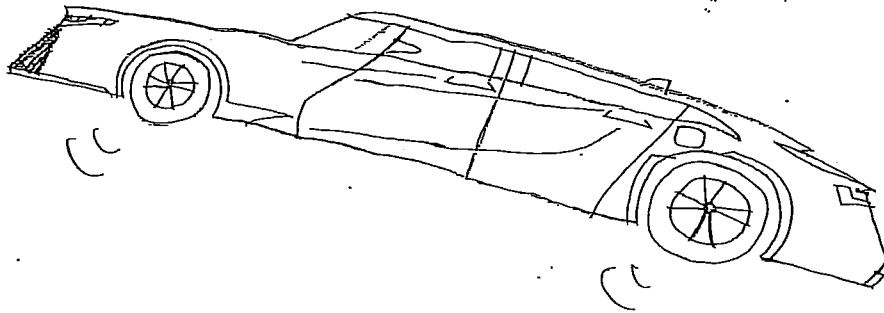


Vol.  
66

次期型LC



次期型RZ



平野 裕人

●特集●

「体験すること」 . . . . . 1~2  
文化事業「ゆらとまあばあちゃん」鑑賞  
みとこどものげきしょうまつり開催しました

「楠緒子」はなんと読むのか . . . . . 3  
森 俊博

ココロノアリカ vol.38 . . . . . 4  
「当たり前」のすばらしさ  
水戸南高等学校 定時制同窓会会長 宮田 哲郎

そ育て情報ラジオ番組 . . . . . 5  
イクメン講座より 大内清志

よしこの世界一周大冒険シリーズ . . . . . 6  
杉野 美子

児童の病気研修に参加して . . . . . 7  
&こそだてコラム 安野名都美

絵本の紹介 . . . . . 8  
図書館司書ずんちゃん  
「やきいもするぞ」「わかってるもん」  
「みならいサンタ」

水戸こどもの劇場より . . . . . 9  
毎月の活動紹介 参加者募集

その他のお知らせ . . . . . 10~11  
事務所MAP 訪問型病児保育のご案内 広告

発行：認定NPO法人 水戸こどもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL <http://mito-kodomo.securesite.jp>

LINE ・メルマガも発行しています。



茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成事業げんでんふれあいコンサート親と子のふれあい劇場  
文化事業「ゆらとまあばあちゃん」2024年9月8日(日)水戸市民会館  
アフタフ・バーバンによる朗読劇風あそび劇シアターを鑑賞しました！



近所のホームに住んでいる大好きなまあばあちゃん。  
ゆらはよく遊びに行っていました。でも…。  
最近少し様子が前と違うのです。  
どうやら「きおく」っていうものをなくしたらしい  
のだけど…。

参加人数

大人 46名

子ども 36名



### <参加者の感想>

- ・普段は引っ込み思案な娘が手を挙げたり大笑いしていたりびっくりしていたり、母であるわたしの方もお話に92才の祖母を重ねてじゃびじゃび涙が出てきたり、濃くて記憶の箱に残る1時間でした。
- ・即興のオリジナルの歌がとてもたのしくて、こんなふうに歌えるのがステキでした。人と人の歌にひかれて、人の間で笑顔になるという本質をとらえていた大切なことと思ひ出させてくれ感動しました。施設のおじいちゃんおばあちゃんのキャラクターがとてもたのしくて、人を愛おしく大切なものであることを感じました。
- ・おばあちゃんにあいたくなりました。
- ・観客を巻き混んでお話しが進んでいくので楽しく観ることができました。子どもたちが一緒に参加している様子がとても楽しそうでした。
- ・大人が考えさせられました。
- ・動きが大きくて、子ども達の中をぬけていくなど面白かったです。久々に声を出して笑いました。
- ・小学生以上向けでしたが年少でも参加して楽しく観劇できました。私自身は認知症があって亡くなった祖母を思い出して切なく、あたたかい気持ちになりました。
- ・記憶をなくしてしまうことをあまり暗くならず明るく楽しく演じた内容でよかったです。導入も良かったが少し長かったかな。子どもが舞台のほうへ飛び出してしまったのが気になった。劇団の人たちの演技は良かった。
- ・とても良いお話でした。大人や中高生に観てもらいたいと思いました。
- ・なんだかじーんとしました。
- ・こどもも楽しそうにしていました。来てよかったです！
- ・記憶について考えてこ。おぼえてなくてもいいんだと感動した。その瞬間を楽しみたいと思った。



2024.11.10 (日) ふれあいセンターごだいにて

# “みとこどものげきじょうまつり” 開催しました！



参加者 204名 スタッフ57名  
合計 261名でした！！



〈スタッフの声〉

たくさんあそびに来てくれました～



子どもは大きくなり離れていますが、そんな大人だけでも楽しめ、文化祭のように工作したり音楽したりして楽しかった。それぞれが楽しいことを企画してそれを実行していて、来る人もやってくる人もその場にいる人みんなが楽しそうで、手作り感あるやさしい雰囲気のおまつりでした。子どもたちは学校や地域を問わず友だちになって楽しそうでした。こんな居場所が普段からあったらいいなと思いました。

かわいいハルーン

カプラ楽しかった～！



こどもの居場所「ポルタ」の子どもたち。在籍者6名中、5名が参加しました。当日は参加が出来なかった子も一生懸命準備をしました。

『楽しかった』準備段階から、皆で協力し合った達成感が一番だったようです。当日も、他のブースに参加して景品をゲットしたり、カプラにチャレンジしたり、楽しんでいました。『盛り上がった』売り上げ向上を目指して、アナウンスしたり、声かけをしたりと、皆がハイテンションでした。『嬉しかった』自分たちの頑張りや利益が出たこと、何に遣おうか、皆で思案中です。『残念だった』目標金額に届かなかったこと。途中で値下げしたこと。反省点も上げ…次回に活かすそうです。子どもたちは、先を見えています。保護者や関係者の皆さまが、子どもたちの笑顔や笑い声、生き生きと働く姿に感動され、感謝の言葉をいただきました。

ゲームコーナーや馬菓子やさん



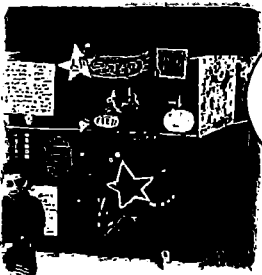
うちの子は不登校中ですが、室内ボードゲームや遊びのコーナーで、とっても楽しんで参加していました。学校も関係ない居心地のいいみんなの居場所になっていたようで良かったです。

スタッフのお子さん小中学生も学校とは違った第三の居場所となったまつり当日、いいつながりが出来てました。



スタッフ集合～！

なんと人間ジューボックス♪



大人気～

とにかく楽しかった！学生のノリで工作したり笑いが絶えない準備期間も含め当日もずっと笑ってたな～。コロナ禍から多くなったリモート対面、場合によっては必要ですがやっぱり人と人が関わりながら笑いながら楽しい時を一緒に過ごすことは大切。スタッフとして参加した大人もとっても楽しそうでした。遊びにしてくれた方も楽しそうだったし、楽しんでるスタッフをみて、水戸こどもの劇場に興味をもってくれたかな・・・

また来年！

夏目漱石に関連した資料など読んでみると、大塚楠緒または大塚楠緒子という名前によく出くわす。「くすお」、「くすおこ」と読むらしいが、中には「なおこ」と読んでいるものもある。現在ではなじみのない、なんとも奇妙な名前である。また、「子」を付けたり付けなかったりと、なんだかもやもやする。それなら、当時の戸籍謄本でも調べればよいのかもしれないが、そこまで研究熱心ではない。そこで、「子」は「ちゃん」や「坊」のような、名前を愛称化する接尾語のようなものかな、などと勝手に推測しつつ、一方で明治時代の女性の名前について書かれた本があると便利だなとも思っていた。

ちなみに、彼女は夏目金之助の学生時代の友人、小屋保治が婿入りした大塚家の娘である。大塚家では婿を探していて帝大生の小屋と金之助とに目を付けていた。結局金之助は落選し、小屋が大塚保治となった。大塚楠緒子はなかなかの才色兼備の女性で、金之助も結構気になっていたから、金之助は彼女を取られてさぞ残念であったろう。

その後、金之助は教員生活を終え小説家漱石となり、朝日新聞社で新聞に連載するための小説を書いたり、文芸欄を担当し他の作家に書かせたりすることになるが、大塚楠緒子にも小説を書いてもらい、それを新聞紙上に掲載したこともあり、まだ関係は続いていた。しかし、楠緒子は35歳の若さで亡くなった。その際漱石は「有る程の菊投げ入れよ棺の中」というような追悼の句を詠んでいる。

ところで、最近本屋を徘徊していたら、『女の氏名誕生～人名へのこだわりはいかにして生まれたのか』（尾脇秀和、ちくま新書、2024）という本を発見し、これで長年の疑問が解決すると喜んで購入した。それによると、江戸時代の女性名は2文字が普通で、例えば「とら」とか「うめ」などだ。しかし、他者が呼ぶときは「お」の字を付けて「おとら」さん、「おうめ」さんのように呼んだ。「箸」を「お箸」というようなものだ。しかし、自分では自分の名前に「お」の字はつけないから、手紙には相手の宛名として「おとら様」と書いても、差出人である自分の名前には「うめ」とだけ書く。

更に明治になると、相手への呼び方が名前の頭に「お」の字を付けるのではなく、名前の最後に「子」をつけるのが流行り、そのうち風習にまでなっただけ。つまり、先の大塚楠緒（くすお）は戸籍に登録された正式名称で、楠緒子（くすおこ）は相手から呼ばれるときの敬称であるということになる。

多くの女性は「とら」や「うめ」のような2音節からなるが、3音節型もあり、末尾に「い・え・の・よ・を（お）」をつけたものになる。たとえば、「きくい」「よしえ」「やすの」「ときよ」「すゑ」などだ。「くすお」はこの3音節型の名前である。それを漢字表記すると「楠緒」になり、他者からは「楠緒子」様と「子」を付けて呼

ばれたのだろう。

2音節に比べ、3音節は流行最先端のキラキラネームだったのかもしれない。特に、「楠緒」のような末尾を「を（お）」にしたものは珍しく、かなり目立ただろう。また、その名前が似合うような女性だったのかもしれない。漱石の作品に『虞美人草』というのがある。甲野藤尾という魅惑的な登場人物が出てくる。この名前「藤尾（ふじお）」というのも珍しい。末尾に「お」の字が来る3音節の名前である。楠緒を意識していたのか、漱石作品には三角関係がよく出てくるが、小屋と楠緒と金之助という三角関係が根っこにあるのかもしれない。

それはさておき、3音節の名前に「お」や「子」は付けにくい。それは、「い・え・の・よ・を（お）」は既に敬称の役割を持っているからであろう。だから、二重の敬称になってしまっただけで珍妙なのだ。

とすると、やはり「くすおこ」という名前には違和感が生じる。まして、「楠緒子様」になったら、三重の敬称になってしまう。疑問は解決したかに見えて、逆に更に深まってしまった。ちなみに、「なおこ」という読み方は間違いであることだけは、今回はっきりした。

さて、漱石こと夏目金之助は楠緒子に失恋した一年後、中根鏡子と結婚する。鏡子は中根重一という当時貴族院書記官長という要職に就いていた人物の長女であった。『夏目漱石周辺人物事典』（笠間書院）によると、彼女の戸籍名は「キヨ」、漢字を当てる時は「鏡」、通称は「鏡子」と書かれている。

金之助が留学先のロンドンから妻に出した手紙が残っているが、それには宛名を「夏目鏡子様」としてある。一方、手紙の末文の後付けでは、下の方に「金之助」、改行して上方に「鏡どの」としたためている。こちらは、金之助のにやけた顔が想像される。

勝手に名前に漢字を当てるとか「子」を付けるとか、昔は随分といい加減だったのか。いや、今でも親は子どもがかわいくてキラキラネームを付けたり、日常的に様々な愛称を付け本名をアレンジして喜んでいるから、そのような親心を斟酌すれば、大塚家の娘を思う気持ちが名前の奇妙さに現れてしまったと思えなくもない。「薫子」とか「桜子」などという名前も、「かおる」や「さくら」だけでは物足りないという親の過剰なぐらゐの愛を表わしているのかもしれない。かつて読んでいた小説に、「胡桃子（くるみこ）」という名前の登場人物がいたのを思い出す。その時は変な名前だと思ったが、今回この小文を書き終わって改めて見てみると、結構おしゃれかもしれないと見直した。

また、最近まで高校の教員をしていた小生は、いわゆるキラキラネームというものに悩まされていた。音読みでもなく訓読みでもなく、雰囲気を読ませる類いの名前が年を追うごとに増えてきたのだ。子どもの人生が幸せになって欲しいという気持ちがこのような名前の付け方に現れるのだから、親しか読めないような名前では困るだろうとはただの老婆心に過ぎないか。楠緒本人は自分の名前をどう思っていたのか。

朝起きる。夜寝る。ご飯を3食食べる。毎日お風呂に入る。外の気温に合わせて着替えをする。時間を守る。疲れたら休憩する。汚れたら掃除をする。などなど……。それらは当たり前前の日常生活にあるごく当たり前前の行動かもしれない。社会の中では大して評価されず、それができることが最低限や当然だという風潮は根強い。行き過ぎれば『それできないことは悪である』と言わんばかりに責められることも少なくない。だが、私にとってはどの当たり前前の行動も、それができるとこなせることはとても素晴らしい能力や個性の一つだと思う。なぜなら私は意識的に努力をしなければ、そのほとんどをこなせないからである。

【朝起きる】これがまず難しい。私の障害特性的に起きるための脳内物質が適切な稼働してくれず、アラームを掛けようが太陽の光を浴びようが、脳が目覚めるまでは身体が起こせない。投薬によるサポートを入れてもコレである。【夜寝る】これがさらに難しい。前述の脳内物質は寝ることに対して適切に稼働してくれず、また端折ることができない私にとって時間は流れ星のように去っていく。やらなきゃいけないことを終わらせ、やりたいことを終わらせ、眠気が来るのを待っていると、あっという間に明け方である。投薬してもちよくちよくコレである。【ご飯を3食食べる】起きれない・眠れないの先に3食ご飯を食べる時間など残されていない。大体2食になるし、料理はマルチタスクで疲弊してしまうので他の日常生活を維持するためにも、己で準備できるのは完成品のみである。

【毎日お風呂に入る】お風呂は疲れる。それをこなすためには50近くのタスクをクリアしなければならない。脱いだ服を洗濯籠に入れるとか、床が濡れないように身体を拭くとか、細かなタスクが多くて対処に疲れるし、それ相応の気力がなければ達成できない。【外の気温に合わせて着替えをする】これもマルチタスクである。まず外の気温を数字で聞いても体感が想像できない。本当に適切な衣服を選ぼうと思えば、いったん外に出て確認しなければならないが、そんな時間は出発準備にかけられない。結果、いつもの決まった服を何パターンか用意しておく。あとは上着を着るか着ないかぐらいしか判断できない。

【時間を守る】物事を端折るためには、どれを端折れるかを判断しなければならないが、これも知覚統合の弱い私にとっては一苦勞である。基本、どれも端折れずそのまま進んでいくので、あらゆる物事

が大体遅れていく。【疲れたら休憩する】自分が動きながら自分の疲労を自覚するというのは、これもマルチタスクである。おまけにASD由来の過集中まで持っている私にとって、己の疲労度合いをはかるという行動は難しい。強く意識し注意を払っていないと、あっという間に電池切れで動けなくなる。

【汚れたら掃除をする】ゴミをゴミ箱に捨てるとか、濡れた場所を拭くぐらいなら対応できるが、部屋の掃除とか片付けになってくると話は変わる。どこまでやればいいのか判断がつかない。一般的に汚れているかキレイか、という尺度で見れば汚れているであろうという部分がたくさんあって、それをどこまで処理すればいいのかが分からないのである。これも端折ることのできない特性が影響を及ぼしている。また、料理も掃除もお風呂も共通しているのが『手数が多く必要』という部分である。例えばキュウリを1本輪切りにするとしよう。①洗う→②ヘタを落とす→③輪切り1回目→④輪切り2回目→⑤輪切り3回目→⑥切れたキュウリをどこかに置く→⑦輪切り4回目……。という感じで、私にとっては一つ一つの手順が1個のタスクとして認識される。なので、料理なんてした日には何時間かかるか分からないし、それだけで疲れ果ててしまうのである。

さあ、毎日毎日そんな日常における当たり前前の『大変な』動作をクリアした先に、学校や仕事といった社会における『よりいっそう大変な』タスクが待っているのである。身近な誰かが、何気ない日常を普通に生きられる。ただそれだけでも、そこに素晴らしさを感じずにはいられない。毎日3食ご飯食べる。すごいじゃん！ 毎日仕事や学校行ける。すごいじゃん！ ホントにそう思う。行きたくても行けない。やりたくてもできないことが多い私にとっては、その当たり前前の一つ一つが輝いて見えるのである。当たり前前のことは決して当たり前ではない。それをできることが素晴らしいし、できないからといってそれは悪ではない。歯の浮くようなきれいごとだけを言いたいわけではないので、そこには確かに優劣は存在するかもしれない。だが、できることが善、できないことが悪ではない。できないことはできないが、できないなりにどこまで対策を立てられるか。そんな風に考えるようになって少し気が楽になった。そしてできていることの輝きは誰しもが持っていてそれに気付くかどうかの違いだけである。



日常ってとても早いスピードで流れていて、つい当たり前前にできていることって忘れてしまいがちです。でも普通が普通でできるって素晴らしいことだし、自戒も込めて、そんな当たり前前の輝きを忘れずにいたいものです。



## イクメン講座「赤ちゃん返り」

子育てして2人目3人目と子供が増えていくと、苦勞するポイントが変わってきますよね。

1度経験しているのに2人目は楽になることは多いんですが、逆に2人目で苦勞することもあります。赤ちゃん返りは子どもが増えることで起こってきます。

赤ちゃん返りとは、弟や妹が生まれたことや、親の職場復帰など、環境の変化をきっかけに子どもが実年齢より幼い行動をとるようになることを言います。

例えばこんな変化が起こります。

- ・甘えん坊になる
- ・今までしなかったのに指しゃぶりをする
- ・わがままになる
- ・下の子にいたずらをする
- ・夜泣きする
- ・不機嫌になったりぐずったりする
- ・今までできたことができなくなる

など、結構困っちゃうことも多いんですよ。

なんで、赤ちゃん返りなんかするんでしょう。

赤ちゃん返りは、子どもの不安な気持ちの表れです。子どもは周囲の変化に敏感で、特に兄弟が生まれるということは、とても大きな出来事です。

赤ちゃん返りの行動の裏には、「親からの愛情を確かめたい、独り占めしたい」という思いがあるようです。ですが、子どもも親を困らせたくてこのような行動をしているわけではありません。赤ちゃん返りは、子どもが親との絆を確認しながら成長していく一つの過程であり、どの家庭でも起こることなのです。

赤ちゃん返りした子どもへどう接していけばいいでしょう。

基本的には子どもの心に寄り添い、安心させてあげることが大切です。

まずは、スキンシップをたくさんとることです。

子どもは抱きしめられることでリラックスし、たっぷり愛情を感じることができます。赤ちゃんがいると抱っこが赤ちゃんに占領されてしまいがちなので、意識して上の子を抱きしめてあげる時間を増やしましょう。

あと、独り占めできる時間をつくることも重要です。上の子がママとパパを独り占めできる時間を作ってあげると、その特別感から不安な気持ちが収まることもあります。親族に協力してもらったり、地域のファミリーサポートセンターなどのサービスを利用して下の子を預け、上の子と1対1で関わる時間を作ってみるのも良いでしょう。

それから、上の子にとっては、赤ちゃんにママを取られた寂しさや、「お兄ちゃんお姉ちゃんにならなくて」というプレッシャーが結構ストレスになっているかもしれません。「ママからもっと注目されたい!」という思いが幼い言動となって現れていると考え、わがままもトコトン聞いてあげましょう。

「きいてー」とか「みてー」とかありますよね。忙しい時とか大変なんですけど受け流さないでちゃんと見てあげましょう。子どもはちゃんと見てくれたことで満足し、自分の遊びに戻っていきます。

赤ちゃん返りの時って、今までできていたことが出来なくなることも多いんです。食事こぼしたり、片づけられなかったり、トイレ失敗したり、「出来るでしょー」って思っちゃいますが、少しハードルを下げて、実際の年齢よりも幼いと思って接してあげましょう。

子どもは変化に敏感だからこそ、兄弟の誕生という大きな変化に対し不安になってしまうのはごく当たり前のこと。上の子は、その不安を赤ちゃん返りとして私たちに伝えてくれています。

赤ちゃん返りが見られたら、スキンシップをとったり、ママやパパを独り占めできる時間を作ってあげたり、なるべく要求に応じてあげましょう。もうお兄ちゃん・お姉ちゃんなのに…と思わず、まだ幼いと思って接してあげると、子どもも安心して少しずつ自立の方向に戻っていきます。今は家族の信頼関係を築く時間だと考え、温かく見守っていきましょう。



世界のよしこです。オンラインスクール「大人の世界一周アカデミー」を運営しています。お金をかけなくても英語が喋れなくても60歳過ぎても毎年世界一周旅行へ行く賢い行き方と何歳からでも挑戦できる生き方をお伝えしています。60歳で起業して4年になります。

## 【6回目の世界一周は45日間】

今年も行きました。世界一周旅行6回目です。

今回はマイルを使わず389,000円のエコノミーの世界一周チケットを買いました。クラウドファンディングでご支援いただいた100万円から買いました。感謝。

## 【9か国の旅】

タイ→カンボジア→インド経由、サウジアラビア→スイス→オランダ→フランス→ドイツ→スイス→カナダ→アメリカ（キャスパー、ヒューストン、ダラス）ロス経由で羽田空港→福岡空港  
各国の友達に「泊めて♡」とお願いしてその国の日常も体験した旅でした。

## 【6回目の世界一周の目玉】

### ① サウジアラビアのビックリ！

インドのムンバイからサウジアラビアのジェッダに飛ぶ飛行機の中は異様でした。女性は「アバーヤ」という黒いローブ、男性は「トーブ」という白の長いシャツワンピースを着ています。ジェッダはイスラム教の聖地メッカの玄関口でもあるので巡礼する人々は男性の場合、イフラーームは2枚の縁縫いのない布からできていて、胴の上はだらりと垂れ下がっている。また、白い飾り帯によって布地の下の方は守られていて、これに、サンダルが付随する格好でした。つまり私にとっての「普通」の服装の人は5人ぐらい。「普通」の概念が壊れます。そしてサウジアラビアの友達がいうには日本より治安はいいし、幸福度ランキングも上位だとか。勝手な思い込みが崩れ去る毎日でした。ホテル泊でなくご自宅に泊めていただくことでよりその国を知ることができました。女性は家の中ではカラフルでおしゃれでした。家の中と外での大きな違いにビックリしました。すごくいい体験をさせてもらいました。

### ② 50年来の夢が叶ったカナダ

赤毛のアンと言う物語をご存じですか？私は中学生の時この話を読んで決めました。大人になったら絶対プリンスエドワード島へ行くと。そして64歳で赤毛のアンになってきました！クラウドファンディングでのご支援のお礼に赤毛のアンの絵葉書に赤毛のアンの記念切手を貼り、昔モンゴメリー（赤毛のアンの著者）が勤めていた郵便局で赤毛のアンの消印をおして送ることができたのも嬉しい思い出です。各国で翻訳されている赤毛のアン。その表紙の絵が多種多様で面白かった。まさに世界の多様性を感じた体験でした。

### ③ 予定外の入院

頭痛が続きどんどんひどくなるのでアメリカで病院に行きました。脳の検査をしましょうということ。で脳のMRIとったら出血が見られるということ。救急車で運ばれICUに入院しました。4泊5日の予定外のびっくり体験までして2か月の予定が2週間早く帰国しました。帰りは乗り継ぎの空港で車いすに乗りました。福岡空港も車いすから見ると新鮮でした。

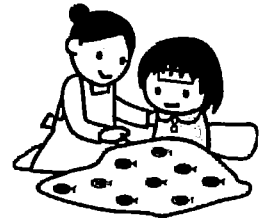
詳しいことは是非私のYouTubeをご覧ください。「よしこの世界一周大冒険」で検索してください

☆マイルを貯めて0円でファーストクラスに乗って  
世界一周旅行へ行く秘密を知りたい方はぜひ無料  
メルマガを読んでください。このまま夢を諦めますか？  
世界のよしこ公式サイト <https://4451life.com/>



## ● 児童の病気研修 ● に参加して

2024年8月22日(木)14時~16時 みと文化交流プラザ  
丸山小児科・皮膚科 丸山剛志先生「児童の病気についてのお話」



代表的な子どもの病気の注意点が分かり、大変勉強になりました。最近の症状の傾向や昔の治療法、使われる薬の事など、長年医療の現場にいる方のお話は大変貴重で興味深かったです。私の娘も熱性痙攣を起こした事があり怖い思いをしたのですが、通常のは発熱や痙攣が命に関わる事はなく、窒息に気を付ければ良いと聞き、知っていればもう少し冷静でいられたなと思いました。また初めて練習用のエピペンを触らせて頂き、使い方を詳しく知る事が出来ました。私も一般人として誰かの命を助ける手助けが出来ると良いと思いました。(F)

小児の病気研修として丸山先生のお話を聞く事が出来ました。丸山先生は実際の臨床現場のエピソードを交えてお話して下さるので、素人の私にもイメージしやすく、興味深い時間でした。病児保育に携わるようになり、自分の子育て中には経験したことのない感染症の子に接する機会が増えました。毎回手探りの保育ですが、小児と接する上で必要な知識は身につけたいと思いました。貴重な時間をありがとうございました。(S)

児童の病気研修に参加し、丸山先生から「代表的な子どもの病気について」資料に沿って、主な病気の症状や治療方法など、わかりやすく教えていただきました。感染症などの病気によっては、昔とは症状に少し違いがあるようで、子供の小さな変化にも、気がつけるようになりたいと思いました。また、食物アレルギー症状も、緊急性があるかどうか、エピペンを使用するか、救急の要請が必要かなど、緊急時の対応も、とても勉強になりました。ありがとうございました。(T)

## こそだて、ゴラム



安野 名都美



【赤ちゃんが学校にやってくる！】

私が中学生の時なので、20数年前。当時は「赤ちゃん抱っこ体験」って言ってたかな。学校でそんな授業があったのを、覚えています。

体育館に向かうと、そこには赤ちゃんを連れのお母さんたち。「あれ、おくんのお母さんじゃね？」ほんとだ。隣のクラスの男子のお母さんがいる！歳がひと回り離れた妹がいるって、そういえば誰かが言ってたな。代わりばんこで、恐る恐る、自分の腕に赤ちゃんをのせてもらう。中学生にもなると、赤ちゃんに触れ合うことって減りますね。だんだん少子化が進んでくるのも相まって、赤ちゃんを抱っこするの自体が初めて、なんて友人もいました。いつも先生に楯突いてる、短ラン・ボンタン・ヤンキーたちが、落とさないようにと、真剣な顔して赤ちゃんを抱っこしてる。その光景が面白すぎて、いまだに頭から離れません。赤ちゃんを目の前にしたら、ヤンキーも優しくなっちゃうんだな。赤ちゃんってすごいな。

水戸に越してきてすぐの頃。たまたま見かけたパンフレットがきっかけで、「赤ちゃん学校」という、水戸こどもの劇場さんのイベントに、当時1歳の次男と共に、参加させていただきました。

「赤ちゃん学校」は、学校の授業の中で、学生さんに「赤ちゃん」と「赤ちゃん子育て真っ最中のママ」のリアルに

触れてもらう活動です。私は水戸市内の高校に2校ほど、お邪魔させていただきました。

授業が始まりちょっと緊張していた生徒さんも、赤ちゃんとのふれあいタイムになると、思わず笑みがこぼれます。「かわいいー！」「ちっちゃ！」女子生徒も、男子生徒も、恐る恐るわが子に触ったり、ひざに座ってもらったりして。生徒さんには新鮮な体験だし、赤ちゃんを育てるママにも良いことしかない取り組み。どの学校も、必ず呼ぶことにしたらいいのに！と思うくらいです笑

子育てって、やって当たり前。やれて当たり前。そんな風に思われがちだし、ママ自身も思いがちです。お仕事のように給与が出るわけでも、外からの評価があるわけでもない。自分がずっと仕事人間だったので、子どもが生まれて、社会から取り残されたような寂しさに駆られたことも、小さなわが子が、生徒さんを笑顔にしているのを見たら。子育てってなんて、尊い仕事なんだろう。そんな尊い「子育て」を、私は毎日頑張ってるんだな。胸がギュツとなりました。

「赤ちゃん学校」の取り組みは、生徒さんにはもちろん、ママと赤ちゃんにとっても、その時期しかできない特別な「社会貢献」じゃないのかな、と思うのです。



「図書館司書」さんちやんの

# えほんの紹介

たのしいお話です  
よんでみてね～



## 「やきいもするぞ」

おくはらゆめ / 作・絵  
出版：ゴブリン書房

森は落ち葉だらけて、畑はお芋だらけ。こうなったらしょうがない。「やきいもするぞ。エイエイオー！」動物たちがやきいもをほおばる至福の時…みているこちらも幸せな気持ちになります。そしてお芋と言えば！突如始まる「おなら大会」可愛らしいゲストも参戦です。癒しと笑いの世界へいってらっしゃい♪



## 「わかってるもん」

ひろかわさえこ / 作・絵  
出版：ハッピーオウル社

ぶうちゃんは「あかちゃんじゃないもん。じぶんでなんでもできるもん」なお年頃。おかあさんとおふろやさんに訪れませんが、世話をやかれるのが嫌でわざと離れてしまいます。するとそこにおばさんたちの集団が！おかあさんがどこにいるのかわからなくなっちゃった！！心細くなったぶうちゃんはおかあさんを探しますが…心がほっこりする絵本です。

よいしょ

## 「みならいサンタ」



そのだえり / 作・絵  
出版：文溪堂

みならいサンタのみなちゃんは今年のクリスマスイブがサンタデビューです。空は寒いのでトイレに行って、腹巻をして、いざ師匠と一緒にソリに乗って出発！途中ではサンタ3級の昇格試験もあります。ひとりでプレゼントを届けることができれば合格です。みなちゃんは合格できるのでしょうか。今年はみなちゃんと一緒にサンタのお仕事を体験してみませんか。



**毎月の活動** (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

\*変更や中止になる場合もありますのでお問い合わせ下さい。ホームページをご覧ください。

<p>おもちゃ貸し出し  <b>エルマークラブ</b> 対象：幼児の親子 【申込制】  <b>毎週水曜日、第1・3金曜日</b> 利用無料          水戸こどもの劇場事務所 (各回1~2組限定)          ①11:00~11:45②12:00~12:45③13:00~13:45          *おもちゃや本の貸し出しあり          貸出料 会員無料(要登録3千円、会員外1回500円)          ○お申し込み ホームページから          またはお電話で 事務局 029-255-0908</p>	<p>多世代交流  <b>たまり場「はやま庵」</b>  <b>毎週月曜日</b> 10:00~12:30 利用無料          水戸市老人福祉センター葉山荘内和室          ○お問い合わせ 葉山荘 029-243-5508</p>
<p><b>ガレッジセール</b> 【申込制】          月1回程度 主に火曜日&amp;時々土日 11時~14時          水戸こどもの劇場事務所隣 トレーラーハウス          子ども服や雑貨日用品などをご覧ください。          *日程・予約はホームページまたはお問合せください。</p>	<p><b>ゆる〜いヨガの会</b> 毎月1回 対象：大人          硬くても大丈夫!参加費：会員550円、非会員1100円          水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)          詳しくはホームページからお問合せください。</p>
<p>個性ある子育てサロン<b>comodo (コモド)</b> 対象：大人          月2回程度 10時~12時          発達が気になる、HSC等、子育ての悩みを話す会          水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)          ○お問い合わせ 事務局 029-255-0908</p>	<p><b>ガフの会</b> 毎月読み聞かせ会をしています。          東部図書館 2F 第1・5土曜日 14時~14時半          見和図書館 第3土曜日 14時~14時半          参加費：無料</p>
<p>多胎児サークル<b>かるがも</b>          双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン          月1回金曜日 10時~12時 参加無料          水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)          ○お問い合わせ 事務局 029-255-0908</p>	<p><b>みとびよ音楽隊♪</b> ファミリープラスバンド          練習は月5回程度9時半~12時(対象：大人 子連れOK)          楽器の演奏を楽しんでいます。&amp;依頼演奏あり          参加費：要活動会員登録(年3千円)          入会金1000円・毎回200円          *練習場所等についてはお問い合わせください。</p>
<p>多胎児サークル<b>かるがも</b>          双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン          月1回金曜日 10時~12時 参加無料          水戸市福祉ボランティア会館 (ミオス2F)          ○お問い合わせ 事務局 029-255-0908</p>	<p><b>ウクレレ&amp;ギターサークル♪「ピコ」</b> 対象：大人          毎月1回 10時半~13時半 (子連れOK)          場所はHPでご確認下さい。          ゆる〜くウクレレやギターを楽しむ会です!          参加費：会員無料、会員外1回300円          *気軽にお問い合わせください。</p>
<p><b>こどもの居場所 ポルタ</b> 【申込制】 第3の居場所~自分らしく安心して過ごせる~          (2024.4~) 日時：火・水・木曜 (祝日・年末年始・お盆休み除く) 9:15~15:15 入退室自由          場所：あとりえず〜む (水戸市根本1-146) 対象：小学生~中学生のお子さん、親子、大人          参加費：1回1000円 + 年間諸経費・保険料5000円/年 (体験2回無料)          ○お問い合わせ・お申込み 水戸こどもの劇場HP、又は事務局まで 電話 029-255-0908</p> <div style="text-align: right;">  </div>	
<p>水戸市子育てひろば <b>ぼかぼかつどいの広場</b> (水戸市受託事業)          毎週火・水・木・金・土 10:30~15:30 (日・月・祝日閉館)          場所：水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F)          未就学児の親子を対象に、交流の場を提供しています。          参加費：無料 毎月講座開催中 (講座のみ予約制)          ○お問い合わせ ぼかぼかつどいの広場 電話 090-8348-5375 まで</p> <div style="text-align: right;">  </div>	
<p><b>mosoカフェ</b> 対象：大人          不定期 10時半~13時半 ウクレレなんかも♪          事務所となりトレーラーハウスにて          ゆったりゆったり自由に過ごすゆる〜い会です。          手作りのお昼ご飯やバザー品もあります。</p>	<p><b>遠足くらぶ</b> 対象：子ども~大人 【申込制】          複数家族で季節ごとに山歩き、釣り、サイクリング、          果物狩りなど、いろんなことを体験しています。          参加費：会員無料、会員外1回500円 (その他実費)          詳しくはホームページからお問合せください。</p>
<p><b>室内ゲームの会「On the table」</b> 対象：小1~大人          毎月1回、土曜か日曜祝日 (不定期) 10時~15時          水戸こどもの劇場事務所、電気のいらないゲーム、          カードゲームやボードゲームで楽しく遊びます。          参加費：無料 出入り自由</p>	<p><b>ほっと!HOT!スクウェア</b> ファミリー情報番組          毎週土曜日 15時~16時 毎週火曜日 (再)          スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づ          いた疑問、得た情報を放送中です!          ラジオFMばるるん 76.2MHz 放送中!</p>

## ●訪問型病児保育“ぴちぴり”のご案内●

対象：水戸市居住の生後6ヶ月～小学生までのお子さん  
 実施場所：水戸市内の利用する児童の自宅  
 利用時間：原則として8時～20時まで

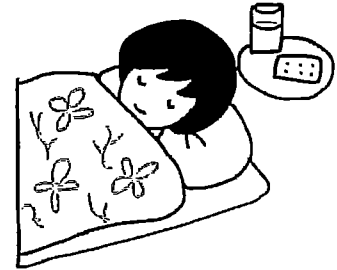


水戸市受託事業として水戸こどもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。

事前登録、医師連絡票が必要です。

その他詳細は、水戸こどもの劇場ホームページをご覧ください。



\*登録会を開催しています。(要予約)  
 (お問合せ) TEL029-255-0908

## 会員募集中!

入会は、子どもから大人まで。

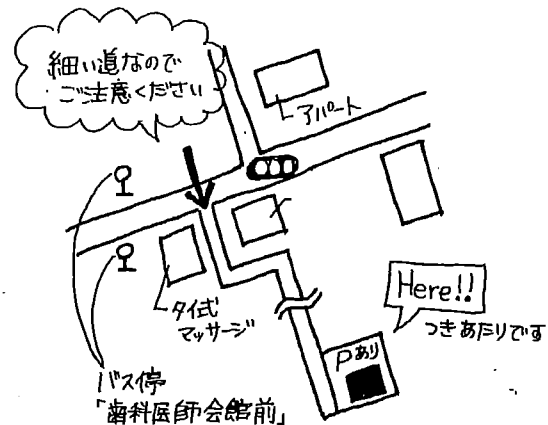
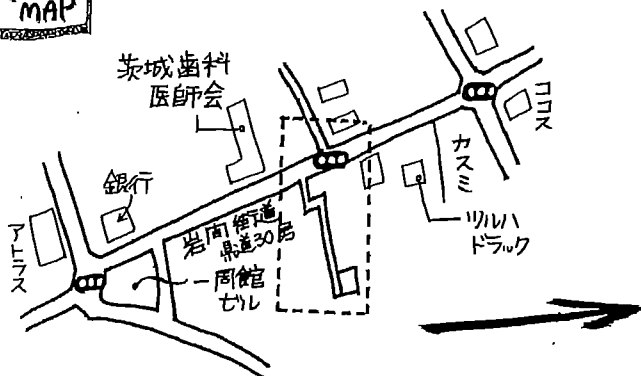
正会員	入会金	500円
	月会費	1,000円
活動会員	年会費	3,000円
ボランティア登録会員	(大人のみ) 学生無料	
	年会費	1,000円
賛助会員	一口	5,000円～

\*賛助会費は寄附扱いになります。

## <賛助会員の皆さん>

水戸吉沢小児科クリニック様、河和田幼稚園様、サンライフ・サンフーズ様、モダンデンタル中庭歯科医院様、乳がん仲間の小さなおしゃべり会 momo 様、水戸産業医事務所様、雨宮則子様、井上多加志様、井上瑞穂様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、杉野美子様、柳橋剛様、田中光彦様、中根一昭様、野口祥子様、袴塚雅彦様、植木剛様、森田直幹様、森田大輔様、桜井大介様、岩熊玲央奈様、軍司朋子様、新妻俊英様、西連寺悠斗様、根本麻貴子様

(順不同・10月末現在)



- ・カスミ側から1つ目の信号を左折です。
- ・馬場駐車場あります(台数に限りあります)

<住所：水戸市見川2-82-11>

## ◆寄附のお願い◆

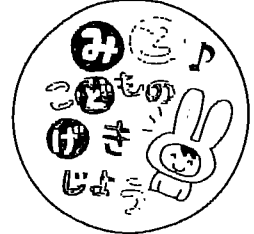
私たちの活動は、会員の会費や助成金、行政からの委託などの事業収入、ボランティアスタッフの奉仕によって実施されています。  
 全ての子どもたちが尊重され、この地に生まれてよかったと思える環境を私たち大人が創ることが豊かな未来を育てると信じています。未来を育てる活動をご支援ください！

**認定NPO法人として多様な活動を支えるために 1人 3,000円～、年間 100名以上の寄附者を募集しています！ご協力をお願いいたします。**

認定NPO法人への寄附は、確定申告をすると税金の還付が受けられます。  
 ぜひ応援よろしくお願いたします。

＜お振込先＞

- 郵便振替 00300-8-1833 水戸こどもの劇場
- 常陽銀行 見和支店 普通 1261264



みとこどものげきじょうの中のサークルです 参加者募集！！

### ゆる〜いヨガ

毎月1回  
 からだとココロも  
 ほぐしましょう～  
 ＊参加費がわかります

＊詳細はHP等をチェックしてください

### ウクレレサークル「ピコ」

毎月1回  
 子連れOK  
 初心者歓迎  
 見学できます

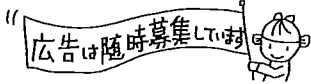
＊貸し出しウクレレあります

### みとぴよ音楽隊

毎月5回程度  
 ファミリープラスバンド  
 参加はゆる〜く  
 演奏はしっかり！  
 がモットーです

＊楽器をお持ちの方

＜広告＞



## まるごとカフェ

平日11:00～16:00 (土日祝休み)

- お弁当イートイン (カフェで食べられます)
- ユーアイ子育て支援センターのすぐとなり
- ユーアイほいくえんのすぐとなり
- 平日14時からフードロスタイムでお弁当100円！ (売り切れ次第終了します)



社会福祉法人ユーアイ村 | ユーアイキッチン  
 水戸市吉沼町1429-12 電話029-212-3775

## 中古車購入 衝撃のシステム

- 毎週10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直接買い付け、お客様にお届けしますので、中間マージン的大幅カットによりとにかく安い！
- 出品票・評価点オープンで徹底的な品質チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽に遊びに来てください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-380  
 中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店  
 水戸市河和田町3036-14  
 営業時間 10:00～20:00 定休日 月曜



吉田石油

50号バイパス・岩間街道交差点内

## ●編集後記●

- ・(H) まつりの工作楽しかった～！毎月やりたいな・・・ナンテ。子どもも大人もスタッフも参加者も楽しい活動が作れるのも水戸こどもの劇場ならではですね。
- ・(N) げきじょうまつり。作るのもあの空間もわくわく。大人になってこんなに楽しめる居場所があって嬉しい。劇場に感謝です。